

# THE ROOF

7/7 土  
再オープン!

展示室の照明や空調設備等を  
リニューアルしました。



ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー  
《カンバーランド州のコールダー・ブリッジ》

1810年 油彩・キャンバス 当館蔵

## Contents

- 「ターナー 風景の詩」-ターナーがとらえた自然-
- 「〈眼の人〉今泉亀撤のコレクション」-知られざる今泉コレクションを公開!-
- 「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」 / 常設展示
- Report
- Information

《ソマーヒル、トンブリッジ》部分  
1811年展示 油彩・カンヴァス  
エディンバラ、スコットランド国立美術館群  
©Trustees of the National Galleries of Scotland



《スノードン山、残照》  
1798-99年  
水彩、スクレイピングアウト・紙  
エディンバラ、スコットランド国立美術館群  
©Trustees of the National Galleries of Scotland

スノードン山は、ウェールズ北部の山地スノードニアの最も高い山です。日が沈み、わずかに残る光が空を照らす、幻想的で美しい風景が描かれています。ターナーは、イギリスやヨーロッパ各地の高い山々を訪れてスケッチをしました。そびえ立つ山や、目がくらむような深い谷など、人々がぞくぞくする恐ろしさを感じるような偉大な自然に新しい価値を見出して表現しています。



《兵士の夢》  
1837年  
ライン・エングレーヴィング  
郡山市立美術館

詩人トマス・キャンベルの詩集の挿絵のために制作された版画です。キャンベルは詩のなかで、戦場にいる兵士の夢にだけ訪れる平和について書きました。ターナーは画面を上下に分け、上には銃によりかかって眠る兵士を、下には夢で兵士が家に戻り妻と子どもに出迎えられる様子を描きました。

# ターナー

## 風景の詩

### Turner and the Poetics of Landscape



《ストーンヘンジ、ウィルトシャー》  
1827-28年 水彩・紙  
ソールズベリー博物館  
On loan from The Salisbury Museum, England



《ストーンヘンジ、ウィルトシャー》  
1829年 エッチング、ライン・エングレーヴィング  
郡山市立美術館

古代の巨石記念物を背景にしたこの作品は、嵐が通過した後の平原が描かれています。幾重にも厚く連なった雲の間から稲光が閃く空の手前には、雷に打たれた羊飼いや羊たちが倒れており、激しい自然現象が巧みに表現されています。右の作品は、左の水彩画をもとに制作された版画です。ターナーは版画を単なる「複製」としてではなく、芸術的価値のあるものとして重要視し、徹底的にその質にこだわりました。



《セント・オールバンズ・ヘッド沖》  
1822年頃 水彩・紙  
ハロゲイト、メーサー・アート・ギャラリー  
©Mercer Art Gallery, Harrogate Borough Council

## 作品の魅力を紹介！ ターナーがとらえた自然

イギリスを代表する風景画の巨匠、ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー（1775-1851）の画業と芸術の全貌を紹介する企画展「ターナー 風景の詩」の魅力に迫ります。

風景を包み込む光と大気。人間の力など到底及ばない大きな力。ターナーの風景画は私たちに、自然とはどのようなかを示し、様々なことに気づかせてくれます。彼は作品において、何を表現したのでしょうか。

《セント・オールバンズ・ヘッド沖》では、大きく波立つ海に複数の種類の船が浮かんでいます。左奥の大きな船はイギリスの戦艦で、その手前にはオランダの国旗をつけた船が見えます。迫力のある画面は、自然の大きな力だけでなく、オランダ船を威嚇するように描かれたイギリス戦艦によって、自国の国力の強さを示しているのかもしれない。

ターナーはまた、巧みな技法によって、豊かな絵画表現を生み出していました。彼は、水彩が自身の創作に最も適した技法だと考えていました。水彩の特徴といえば、繊細な濃淡、にじみやぼかし、透明感のある絵具の重なりなどが挙げられます。光や大気は、具体的な形をとらえることができません。絵具を溶く水の量や筆さばき、ほかに様々な技法を駆使し、ターナーは自らがとらえた自然を絵画として表現しました。

ターナーは油彩画の作品も数多く残していますが、そのなかには、水彩のような表現を取り入れているものもあります。油彩ならではの良さを十分に活かしつつ、水彩の技術を油彩に置き換え、昇華させているようです。

本展では、イギリス各地と日本国内の美術館から選りすぐった油彩画・水彩画約70点と版画約110点をご紹介します。ターナーの見た風景の世界をご堪能ください。

(新田量子)

### 企画展「ターナー 風景の詩」関連イベント

講演会 1  
「風の歌声・光の夢  
-ターナー芸術の真髓」  
日時：7月16日(月・祝) 14:00～  
場所：多目的スタジオ(入場無料)  
講師：高階秀爾さん  
(大原美術館館長/東京大学名誉教授)

美術講座「ターナーと崇高な風景」  
日時：8月26日(日) 14:00～  
場所：講義室(入場無料)  
講師：当館学芸員

美術講座「ターナーと絵画技法」  
日時：9月8日(土) 14:00～  
場所：講義室(入場無料)  
講師：当館学芸員

講演会 2  
「ターナーが見たもの/ターナーを見たもの  
-19世紀のイギリス社会から考える-」  
日時：7月21日(土) 14:00～  
場所：多目的スタジオ(入場無料)  
講師：森 正人さん  
(三重大学教授)

ギャラリートーク  
日時：7月22日(日) 14:00～  
7月29日(日) 14:00～  
場所：企画展示室(企画展観覧券が必要です)  
講師：当館学芸員

映画会「ターナー、光に愛を求めて」  
(2014年/150分)  
日時：7月28日(土) 14:00～  
場所：多目的スタジオ(入場無料)

講演会 3  
「光は海峡を越えて：  
ターナーのロマン主義から  
モネの印象主義へ」  
日時：8月19日(日) 14:00～  
場所：多目的スタジオ(入場無料)  
講師：千足伸行さん  
(広島県立美術館館長/  
成城大学名誉教授)



©Channel Four Television Corporation, The British Film Institute, Diaphana, France3 Cinema, Untitled 13 Commissioning Ltd 2014.

### 企画展 ターナー 風景の詩 2018年7月7日(土)～9月9日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日：毎週月曜日  
(7月16日は開館、翌日17日休館)  
観覧料：一般 1200(960)円 高大学生・65歳以上 800(640)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：郡山市立美術館、  
毎日新聞社、福島民報社、  
スコットランド国立美術館群  
後援：ブリティッシュ・カウンシル  
協力：日本航空  
協賛：大日本印刷



企画展

ブリューゲル展  
画家一族150年の系譜

2019年1月11日(金)～3月31日(日)

チケット前売開始 9月22日(予定)  
開館時間：午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日

(1月14日、2月11日は開館、  
1月15日、2月12日休館)

主催：郡山市立美術館、福島中央テレビ、  
福島民友新聞社

協賛：光村印刷、福島トヨタ、ベスト学院進学塾  
福島交通株式会社

観覧料：一般 1500(1200)円  
高大学生・65歳以上 900(720)円  
※( )内は団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

16世紀半ばのフランドルを中心に活動したピーテル・ブリューゲル一世(1525/30-1569)に始まり、150年にわたって画家を生み出したブリューゲル一族。約100点の出品作のほとんどは、欧米の個人コレクションとして通常は公開されていない貴重な作品で、日本初公開。一族の系譜を辿りながら、16、17世紀フランドル絵画の魅力をご紹介します。



ヤン・ブリューゲル1世  
ヤン・ブリューゲル2世  
《机上的花瓶に入ったチューリップと薔薇》  
1615-1620年頃 油彩・板  
Private Collection



ピーテル・ブリューゲル2世  
《野外での婚礼の踊り》  
1610年頃 油彩・板  
Private Collection

ブリューゲル展  
画家一族150年の系譜

Exhibition

—知られざる今泉コレクションを公開！—

郡山市片平町出身の医学博士、今泉亀撤(1907-2009)は、日本最初の角膜移植に成功し、角膜移植法の成立、そして角膜移植のための眼球銀行いわゆるアイ・バンクの創設にも大きく寄与しました。1982(昭和57)年、今泉眼科病院と今泉西病院の医療法人明信会理事長となり、2004(平成16)年には郡山市の名誉市民として顕彰されました。

東北帝国大学を卒業し、岩手医科大学附属病院眼科部長として、目の不自由な人々のために尽くした今泉は、独特の審美眼をもった人でもありました。激務の合間をぬって、彼は多くの画家や彫刻家たちと交流し、展覧会や画廊に通っては美術作品を収集していたのです。しかし、それらが人の眼に触れる機会は、ほとんどありませんでした。

収集は、宮城県出身の彫刻家阿部正基(1912-1978)の作品から始まったようです。恐らく戦後間もない頃の東北大学助教授



【参考】アイバンクのポスター

時代、今泉は、日展に入選し始めたばかりだった阿部の作品をいち早く評価して彼を応援し続け、後には今泉眼科病院を設立した義父の今泉信一や自分自身の胸像制作を直接彼に依頼するまでになりました。

1949(昭和24)年に岩手医科大学へ移ってからは、岩手県出身の彫刻家舟越保武や、岩手県陸前高田市にアトリエをもっていた行木正義(1909-2004)らとも親しくなっています。行木は、1950年代にパリに留学し、そこでアンフォルメル(非具象)運動に影響を受け、湖南町出身の土橋醇らと切磋琢磨した画家です。今泉は、行木と家族ぐるみの付き合いをし、やがて行木を通して、猪熊弦一郎(1902-1993)を知ります。三越百貨店の包装紙や上野駅の巨大壁画などでも知られる猪熊と今泉との間には、猪熊が没するまで二十年以上の深い親交がありました。

今泉コレクションの特徴は、そういった彼自身の交流関係から浮かび上がってきます。中には日本の近現代美術を彩った、彼が会ったことのない作家たちの作品も含まれています。やはり岩手県出身の萬鉄五郎(やまいたけごろう、安井曾太郎、梅原龍三郎といった昭和の二大巨匠の作品が加えられていることで、コレクションはより輝きを放っています。恐らく今泉は、大正から現代につながる



猪熊弦一郎《生命のバランス》  
1985(昭和60)年 水彩・紙  
医療法人明信会 今泉西病院  
©The MIMOCA Foundation

体系的なコレクションの形成を目指していたのでしよう。同時に今泉の眼は海外にも向き、コンスタン・トロワイヨン(1810-1865)らバルビゾン派の画家たちや、「好きだ」と公言していたシャガールなどの作品も集めていったのでした。

この展覧会では、現在、医療法人明信会今泉西病院が所蔵している彼のコレクションの中から約180点を厳選し、その収集の変遷をたどります。なぜこの作家が？なぜこの作品が？と考えながら観ることで、展覧会はより充実したものを感じられることでしょう。同時にそれは、今泉亀撤というひとりの人間の生き方をたどることになるかもしれません。

(文中敬称)  
(菅野洋人)



コンスタン・トロワイヨン  
《牛と犬》  
油彩・キャンバス  
医療法人明信会 今泉西病院

常設展示

2018年7月7日(土)～10月8日(月・祝)

特別展示 郡山市立美術館名品選

2018年10月11日(木)～2019年1月20日(日)

- 1 自然との対話
- 2 近代洋画の眼
- 3 戦後・画家の試み
- 4 『HANGA』特集 / 佐藤潤四郎と仏足跡



修復



修復



修復

1. サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ《フローラ》  
1868-84年 油彩・キャンバス
2. ジョン・コンスタブル《ダムの谷》1802年 油彩・紙、キャンバス
3. サー・ジョシュア・レイノルズ《エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像》  
1777年 油彩・キャンバス

長期休館中に、当館コレクションを代表する作品の修復を行いました。より美しく生まれ変わった作品をどうぞお楽しみください。7月7日からの常設展では、再オープンを記念し、郡山市立美術館の名品を特別展示します。



4. 白瀧幾之助《編物をする少女》1895(明治28)年 油彩・キャンバス



5. 藤島武二《かくの花》1901(明治34)年 油彩・キャンバス

特別展示



逢瀬で魅せます、日本とイギリス 郡山市立美術館名品選

2018年4月21日(土)、22日(日)

場所：逢瀬公民館 大集会室  
 主催：郡山市立美術館  
 協力：逢瀬公民館

長期休館の機会に逢瀬地区の方々に当館コレクションを楽しんでいただくため、逢瀬公民館において郡山市立美術館名品選を開催しました。「イギリス近代美術」「日本近代美術」「郡山ゆかりの美術」「版(本)の美術」という、当館コレクションを特徴づける4つのテーマから、33点を選び、彫刻、工芸まで、多様な作品を展示しました。当館学芸員によるギャラリートークなどを通じて、当館の活動や作品の魅力などを紹介しました。

アート・カフェ

当館併設の「juju130CAFE」にご協力いただき、参加者のみなさんと学芸員がティータイムを楽しみながら、アートや美術館をテーマに自由にトークを交わす「アート・カフェ」を開催しました。スペシャル・アート・カフェ「レコード寄席」では、田口史人氏を講師にお招きしました。



スペシャル・アート・カフェ  
「レコード寄席～味な風景～」

2018年3月3日(土)  
 場所：juju130CAFE  
 講師：田口史人さん  
 (レコード店「円盤」店主)

1960年代から70年代にかけて制作された企業宣伝用レコードから、アルコール飲料などをテーマにした名盤の数々を、貴重なエピソードと共に紹介していただきました。



アート・カフェ  
～美味なる作品鑑賞会～

2018年1月20日(土) 「食卓編」  
 1月27日(土) 「美食家編」  
 場 所：juju130CAFE  
 話し手：当館学芸員

食に関する作品や、芸術家たちのエピソード、食卓にまつわる工芸品を、当館の所蔵品を中心に紹介しました。

アート・カフェ～わたしのおすすめ！っておきの話～

- 2018年2月3日(土) 「日本画家・荻生天泉×書家・尾上紫舟×平安歌人」
- 2月10日(土) 「あっと驚く新聞付録」
- 2月17日(土) 「描かれた風景を探して～現地調査エピソード～」
- 2月24日(土) 「『ピカソみたいな絵』ってホメ言葉？  
～いい作品とはなにか～」
- 3月10日(土) 「画材いろいろ～絵具、筆、キャンパス～」
- 3月17日(土) 「怖い？楽しい？お酒とアート」
- 3月24日(土) 「鑑賞力アップ実践トレーニング～鑑賞ゲーム～」
- 4月7日(土) 「美術館の舞台裏！？」
- 4月14日(土) 「偉人・傑人・珍品・奇品！！」
- 4月28日(土) 「花をめぐるアート」

場 所：juju130CAFE 話し手：当館学芸員

アートや美術館、作品鑑賞に関する身近な話題や、学芸員っておきのエピソード・トークで盛り上がりました。



長期休館中、館内、館外で各種イベントを開催しました。市内の公民館では当館所蔵品の特別展示を開催し、また各施設のご協力をいただきワークショップをはじめとするコラボレーション事業を行いました。2018年1月から5月のイベントを報告します。

映画上映会「母たち」  
2018年3月24日(土)

場所：ミューカルがくと館  
大ホール  
講師：当館学芸員

「母たち」(37分)  
 監督／松本俊夫 音楽／湯浅譲二  
 1967年第18回ベネチア国際記録映画祭グランプリ受賞

世界各地でたくましく生きる、母の姿を捉えたドキュメンタリー映画を上映しました。上映に先立ち、音楽を手がけた郡山市出身の作曲家、湯浅譲二氏の活動や業績について紹介しました。

ワークショップ



凧作り&紋切り  
2018年1月6日(土)

場所：郡山市青少年会館  
(ウィンタースクール参加)  
講師：当館学芸員

冬の風物詩をテーマに、レジ袋を材料に凧を作って遊んだり、江戸時代の「紋切り」技法で雪輪模様などを作りました。



手作りクレヨンで描こう & 江戸時代の「紋切りあそび」で楽しむ  
2018年2月24日(土)、25日(日)

場所：郡山市民文化センター 展示室  
(「郡山市男女共同参画フェスティバル」ブース参加)  
講師：当館学芸員

絵具のしくみを解説しながら、食物などを材料にしたクレヨンを紹介するコーナーと、江戸時代の「紋切り」技法を体験するコーナーを設けました。



アニメのしくみを体験しよう! & かんたん、びっくり! & 写真をオリジナルの絵にしよう!  
2018年3月4日(日)

場所：郡山市ふれあい科学館 多目的研修室  
講師：当館学芸員、ふれあい科学館職員

アニメーションの基本が学べる「ゾートロープ(回転のぞき絵)の制作と、写真転写を応用した絵画づくりを行いました。



イースターエッグ・アート  
2018年3月25日(土)

場所：郡山市青少年会館  
講師：当館学芸員

春の風物詩をテーマに、卵の殻に絵付けや装飾をあしらったイースターエッグ作りを行いました。



みつろうクレヨンで遊ぼう & 紙切りアートにチャレンジ!  
2018年5月3日(木・祝)、4日(金・祝)

場所：大安場史跡公園  
(「こどもオリンピック」ブース参加)  
講師：当館学芸員

みつろうにベンガラや食物色素等を加えたクレヨン作りのコーナーと、「紋切り」をアレンジした紙切り体験コーナーを設けました。



マスキングテープ・アートを楽しむ  
2018年5月19日(土)

場所：さんかくプラザ  
(男女共同参画センター)  
講師：当館学芸員

自由に貼ってはがせる特徴を活かしながら、様々な色彩のマスキングテープを台紙に貼り込み、オリジナルの平面作品を制作しました。



だまし絵を見る・描く・つくる  
2018年5月27日(日)

場所：諸橋近代美術館  
講師：当館学芸員

諸橋近代美術館で開催中の企画展「夢幻×無限～エッシャー、ダリ、福田繁雄～」に関連し、だまし絵への理解を深めながら、錯視のしくみを利用した平面作品と立体作品を制作しました。

Report

# Information

## 第17回 風土記の丘の美術展

—郡山市内の小学生による作品展—

日時：7月16日（月・祝）～8月19日（日）

場所：美術館ロビー

主催：郡山市立美術館・郡山市小学校造形教育研究会

市内を5つの地域に分けて、週替わりで展示します。  
展覧会とあわせてお楽しみください。

第1期 7月16日（月・祝）～7月22日（日）  
片平、喜久田、熱海、熱海石筵分校、安子島、  
湖南、富田西、桑野、小山田

第2期 7月24日（火）～7月29日（日）  
安積第一、安積第二、安積第三、永盛、守山、  
御代田、高瀬、谷田川、田母神、栃山神、橘、  
小原田、桜

第3期 7月31日（火）～8月5日（日）  
日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、  
行徳、富田、富田東、西田学園

第4期 8月7日（火）～8月12日（日）  
柴宮、穂積、三和、多田野、多田野堀口分校、  
河内、開成、薫、大槻、大成、朝日が丘、  
ザベリオ学園

第5期 8月14日（火）～8月19日（日）  
金透、芳山、芳賀、桃見台、赤木、白岩、東芳、  
大島、緑ヶ丘第一、宮城、海老根、御館



## 【夏休み公開ワークショップ】

### 第13回 風土記の丘発

図工&美術の時間へようこそ！

小中学校の先生と一緒に、図工と美術の授業を体験。  
いろいろなテーマのコーナーでお待ちしています。

日時：8月4日（土） 午前の部 11:00～12:00  
午後の部 14:00～15:00

講師：小中学校の先生

場所：多目的スタジオ

定員：各コーナーとも先着15名程度  
※申込不要です。



郡山市立美術館  
文化講座

## アート・テーク

アートから捉える  
アートを掴む  
アートに触れる

### 第1回「白石加代子 演じること、語ること」

日時：8月1日（水）18:00～19:30

特別講師：白石加代子さん（女優）

松岡和子さん（翻訳家・演劇評論家）

場所：多目的スタジオ（入場無料）

**申込必要** 受付期間／7月16日（月・祝）必着  
（申込方法はホームページ等をご覧ください。）



白石加代子さん



松岡 和子さん

### 第2回「美術館のたのしみ」 申込不要

日時：9月29日（土）14:00～15:30

特別講師：池内紀さん（ドイツ文学者、エッセイスト）

場所：多目的スタジオ（入場無料）



池内 紀さん

### 第3回「ヒトと動物の比較美学」 申込不要

日時：11月18日（日）14:00～15:30

特別講師：脇田真清さん（京都大学霊長類研究所助教）

場所：多目的スタジオ（入場無料）



脇田 真清さん

企画展関連イベント 「ターナー 風景の詩」展関連の講演会、美術講座、ギャラリートーク、映画会等の情報につきましては、3ページをご覧ください。

## TOPICS



juju

130 CAFE

ジュジュ イチサンマル カフェ

営業時間／11:00-17:00

電話／024-942-2250

## フローズンベリーパンケーキ マスカルポーネアイス添え

単品 700円（ドリンクセット 1,080円）

当店大好評のパンケーキに、暑い夏にぴったりのメニューが登場。

爽やかな風味のマスカルポーネアイスと自家製苺ソース、フローズンしたフレッシュな4種のベリーをふわふわパンケーキにトッピングしました。

（メニューや料金、営業時間は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。）



郡山市立美術館  
Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2  
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350  
http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijyutukan/

発行日／平成30年7月6日

敷地内禁煙



紙ヘリサイクル可

この印刷物は、適切に育まれた森から生まれたFSC®認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。